

施策評価調書(4年度実績)

施策コード Ⅲ-2-(3)

政策体系	施策名	文化財・伝統文化の保存・活用・継承	所管部局名	教育庁	長期総合計画頁	141
	政策名	芸術文化による創造県おおいの推進	関係部局名	教育庁		

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	文化財・伝統文化の保存	文化財・伝統文化の活用	文化財・伝統文化の継承

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する取組No.	基準値		4年度			6年度	目標達成度(%)												
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125								
i	文化財の保存・活用に関する市町村の地域計画の策定数(件)	①②	H30	0	5	6	120.0%	18												
ii	県立歴史博物館・県立先哲史料館・県立埋蔵文化財センターの利用者数(万人)	③	H26	10.1	14.2	12.1	85.2%	14.3												

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等		平均評価
i	達成	市町村職員を対象とした地域計画作成研修会・講演会を実施することにより、作成機運が高まり、目標値を達成した。	概ね達成
ii	達成不十分	新型コロナウイルスの影響が続き、前年度からは増加傾向にあるものの利用者数が伸びず、目標値を達成できなかった。	

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> ・R4年度は、新たに2件の文化財(美術工芸品)を大分県指定文化財に指定し、地域の文化財保存を進めた。 ・県内の遺跡の発掘調査(下郡遺跡群等)を行い、記録保存に向けて遺物の収集や測量などを行った。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・竹田市で、地域の宝ウォーキングを開催した。38人が参加し、竹田市旧城下町の文化財を巡り、文化財保護への理解を深めるとともに関心を高めた。 ・先哲史料館において、秋季企画展「祭りの記憶」を開催し、県内各地域の多彩な祭礼行事やユネスコ無形文化遺産に登録された「吉弘楽」等について広く発信した。 ・埋蔵文化財センターにおいて、企画展「九州・おおいたの縄文文化」を開催し、縄文人の生活や埋葬方法、姫島産黒曜石の流通等県内の考古学的成果を広く発信した。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財をデジタル・アーカイブ化した「おおいた文化財ずかん」を作成したことで、身近に触れることができるようになった。(R4年度公開数:604点) ・「子ども学芸員」体験に参加した6校のうち5校においてモデル的な取り組みとして、市町村と連携し、地元の資料館などで展示を行った。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(4年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①②③	活かして守る大分の文化財保護推進事業	120.0	344

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○令和4年度第2回文化財保護審議会(R4.12)</p> <p>・「おおいた文化財ずかん」は、国・県指定文化財が中心の掲載となると聞いている。県内市町村のデジタル・アーカイブとも連携した取組みや双方向のコンテンツになることを期待したい。</p>	
---	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
B	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村の地域計画作成を支援し、R3.3に策定した「大分県文化財保存活用大綱」の基本理念「地域とともに活かして守る大分の文化財」の実現を図る。 ・おおいた「地域の宝」ウォーキングを開催し、文化財を活用した地域活性化や地域住民の文化財への理解を促進する。 ・「おおいた文化財ずかん」の充実により、大分の歴史・文化の情報発信を強化する。 ・「子ども学芸員」体験を実施し、大分の歴史文化を継承する人材を育成する。